



発行所
日本水道新聞社
 本社：〒102-0074
 東京都千代田区九段南4-8-9
 TEL 03(3264)6721
 FAX 03(3264)6725
 編集部直通 03(3264)6722
 大阪：〒541-0051
 大阪市中央区備後町3-3-9
 TEL 06(6125)3630
 FAX 06(6125)3866
<http://www.suido-gesuido.co.jp>



特集
 全管連新体制
 =2~3面=
 セントラル科学
 水処理技術セミナー
 =6面=

大賞インフラメンテ

基盤強化 現場の工夫から

厚労大臣賞 TSSS 優秀賞 東亜グラウト工業

厚生労働省、国土交通省等は9月30日、第3回インフラメンテナンズ大賞(選考委員長山極壽一日本学術会議会長・京都大学総長、委員川滝沢智東京大学大学院工学系研究科教授ら計15人の受賞者を発表した。

国交大臣賞にクボタ

発見器による効率的な漏水発見手法(スクリーニング工法)、同賞優秀賞には東亜グラウト工業の「アイスピック管内洗浄工法(水で管内を洗浄する技術)」が選ばれた。

TSSSの「時間積分式漏水発見器」は、同社が日本ウォーターソリユーションと共同開発した時間積分式漏水発見器

「TSリークチェッカー」を用いて二次調査を行い、その結果から抽出される漏水の可能性の高い箇所のみを熟練技術者が調査し特定を行う「漏水発見手法」。

また、容易に取り扱える「TSリークチェッカー」を用い、メーター検針時に検針員が一次調査をできるようにしたことにより、短時間でより広範囲の漏水調査が可能となっている。同工法は平成22年度から延べ約70の水道事業体等で導入実績がある。

東亜グラウト工業の「アイスピック管内洗浄工法」は、水を用いて圧力管路を洗浄する技術。洗浄に用いる特殊アイスシャワーベットの管内面の汚れを擦り取る能力に優れ、管内に堆積する砂や石などの夾雑物をシャワーベットの内に包み込んで運び、管外に排出できることが特徴となる。同社は昨年、管外に排出できることが下水熱利用の「ヒートライナー工法」で国土交通省優秀賞を受賞しており、2年連続の受賞は民間企業では初となる。

また、国土交通大臣賞にクボタの「下水道圧送管路における硫酸腐食箇所」の効率的な調査技術が受賞した。受賞技術は、これまで困難だった点検および維持管理における新しい調査手法で、管の調査箇所を効率的に絞り込み、土木工事を行わずに管内面の状況をカメラで撮影し、映像で確認が可能。口径75mmの空気弁から、日本初の圧送管路腐食調査機器「CSカメラスネーク」を挿入し、日に開かれる予定。

同賞は「メンテナンズ実施現場における工夫部門」「メンテナンズを支える活動部門」「技術開発部門」の3部門に区分されるが、TSSSはメンテナンズ実施現場における工夫部門、東亜グラウト工業とクボタは技術開発部門での受賞となった。

同賞の表彰式は11月7日に開かれる予定。